中央社保協２０２３年度全国代表者会議（２０２４年２月１２日）

発言通告用紙

◆２０２３年度全国代表者会議の発言について、「発言通告」の提出をお願いします。

２月１０日必着で kikaku@shahokyo.jpに送付ください。発言時間は５分でお願いします。

発言者氏名、発言テーマならびに発言の概要を記入ください。

* + 氏　名　　　町田　茂
	+ 所　属　　　群馬県社保協
	+ テーマ　　①高齢者の交通問題、②学校給食費、

③桐生市生活保護問題

* + 発言内容（具体的に）
1. 高齢者の交通問題

自動車の保有率全国1位で山間地域が大部分を占める群馬県民にとって、高齢化により免許返納すると医療機関へのアクセスができなくなる。そのためデマンドバスやタクシー代助成制度の拡充を自治体に呼びかけて、前進できている。

1. 学校給食費の無料化

群馬県では学校給食の無償化をすすめる会を2014年に結成し取り組んできた。

現在では無料化自治体が35市町村中高崎市を除く34市町村となり、完全無料化は２０市町村。これに春から県庁所在地 前橋市と沼田市の２市が完全無料化自治体に加わり、およそ2/3自治体が完全無料となる。署名数も128,926筆となった。

1. 桐生市生活保護問題

桐生市では生活保護受給者が2011年度1163人から2022年度547人と半数以下に減少している。特徴として、生活保護受給者に１日1000円という基準を設けて保護費を全額支給しない、市が生活保護費を管理し自由に使えず自殺者が出ている。市で印鑑1944本を所有し同意文書を偽造している。受給者に恫喝行為や嫌がらせをおこない市外に転居させるなど問題が多数あり、市交渉をしている。